

## 平成19年度 事業評価書

地 域 名	青森県鯉ヶ沢町	選定年度	H17年度	事業規模	小規模事業
まちづくり協議会名	鯉ヶ沢町エコ推進協議会				
モデル事業名	創エネで豊かな暮らしを実現する環境保全型地域経営事業				

### 1. 事業の実施状況

委託事業	事業 期 間	H17年度	調査事業として、省エネ住宅の普及による環境保全と住宅関連産業の活性化に資するためのアクションプランを策定。また、グリーン商品の購入を勧めるためのポイント制度導入システムを設計。 普及啓発事業として、地域住民を対象とした省エネルギー・自然エネルギーセミナーを開催。
		H18年度	調査事業として、地域資源マップ作成調査を実施。また、普及啓発事業として、住民を対象とした省資源・省エネに関するセミナーを開催。
		H19年度	普及啓発事業として、省エネ、まちづくりに関するセミナーを開催した。
交付金事業	事業 期 間	H17年度	一般家庭への薪・ペレットストーブ導入事業(公募型助成事業)として、一般家庭に薪・ペレットストーブを導入。 また、チップボイラー導入事業として、アユ種苗生産施設にチップボイラーを導入。
		H18年度	チップ製造設備整備事業として、チップパー、薪・チップ貯蔵施設、炭化装置を導入。 チップボイラー導入事業として、ケアハウスにチップボイラーを導入。 一般家庭への薪・ペレットストーブ導入事業(公募型助成事業)として、一般家庭に薪・ペレットストーブを導入。
		H19年度	一般家庭への薪・ペレットストーブ導入事業(公募型助成事業)として、一般家庭に薪・ペレットストーブを導入。

### 2. 評価・分析

①事業の特色・モデル性	農村モデルとして、農業における未利用バイオマス資源を有効活用した薪・ペレットストーブ、チップボイラー導入事業等を実施。特に鯉ヶ沢町の基幹産業である農林業においてこれまで廃棄物として処理または利用されていなかったりんご剪定枝等をチップ化し、チップボイラー等に利用する事業は地域のバイオマス資源を有効利用する取組でありモデル性がある。		
②環境保全効果 (二酸化炭素排出削減効果等)	二酸化炭素排出削減効果	備 考	
	目 標 値	1,630	H16年度、H17年度、H18年度事業分
	実 績 値	764	H16年度、H17年度、H18年度整備施設のH19年度稼働実績 <small>(目標値・実績値単位:t-CO2/年)</small>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薪・ペレットストーブ導入事業 導入設備の台数・稼働率が増加したほか、暖冬だった昨年度に比較し今年度は暖房需要が大きかったため、CO2削減効果は3年間で最も大きくなった。</li> <li>・チップボイラー導入事業 昨年度は稼働期間の短さで目標達成率は低かったが、今年度は導入施設がほぼ順調に稼働し、目標が達成された。</li> </ul>		
③経済活性化効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薪・ペレットストーブ導入事業 薪・ペレットストーブ導入による薪・チップの販売により効果は得られている。薪の供給業者が起業する等、副次的な効果も見られる。</li> <li>・チップボイラー導入事業 燃料を代替することにより燃料費を節減でき、またチップ燃料や原木(りんご剪定枝)販売による効果を得ることが出来ている。</li> </ul>		
④その他			